

朝日新聞 2018 年 (平成 30 年) 6 月 29 日 (金)

学び遊び キラキラと輝く目

大学生 川辺 甲余子
(奈良県 20)

小中学生を対象に宿題や自主学習をサポートする学習支援教室の学生ボランティアを昨年からしている。

教室では基礎的な学力を身につける勉強だけでなく、少しでも勉強に興味をもってもらえるような機会や環境をつくるようにしている。たとえば宿題が終わった子どもたちと、私が幼い頃に遊んだ、ことわざカルタや

都道府県パズルで一緒に遊ぶ。すると疲れ切っていた顔がパッと明るくなる。カルタやパズルは真剣勝負、勝てば目がキラキラと輝き、負ければ「次は」とキラリとした目になる。

そんな子どもたちと接して、喜ぶことも悔しがること「学び」だということに気づかされた。学びを繰り返すことで子どもの目は輝きを増す。将来は、輝いた目を育てる小学校の教師を目指している。

朝日新聞 2018 年 (平成 30 年) 7 月 3 日 (火)

30歳で大学入学 夢諦めない

大学生 岡口 佳世
(奈良県 31)

昨春、大学へ入学した。以前は英会話講師として多忙な日々を過ごしていたが、激務に自分を見失いそうだった。

でも、いつも心には「小学校教師になりたい」という思いがあった。その思いを諦められず、不安はあったが30歳での

大学入学を決意した。授業は毎回新鮮で、今までの経験もあって内容がより深く理解できる。学ぶことが面白く、努力することは気持ち良いとさえ感じた。

こつこつと着実に前に進んでいくことの大切さも、この1年で痛いほど味わった。教師という夢に向かって、今後全力で邁進していきたいと強く思う。

承諾番号「18-3269」